

科目名	老年看護学概論	単位	1	時間	15	講師名	教員
開講時期	1年生 2学期						
科目の目的と概要	<p>高齢者模擬体験を行い、高齢者の身体機能の変化による日常生活の不自由さを体験し、高齢者の心理への気づきや環境調整の意義や必要性を理解する。</p> <p>加齢による身体的・精神的・社会的変化を理解し、高齢社会の現状、高齢者のライフスタイルやニーズを知り、老年看護の目的・目標や役割を学ぶ。</p> <p>高齢社会の保健・医療・福祉に対する理解を深め、高齢者施策や介護問題および権利擁護・倫理的課題を学ぶ。</p>						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1、DP2、DP5の達成に寄与						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 加齢による高齢者の身体的・精神的・社会的特徴とそれに伴う生活の変化が理解できる</li> <li>2. 高齢者の生活を支援するための保健・医療・福祉システムについて理解できる</li> <li>3. 高齢社会の現状をふまえ、老年看護の特徴と役割が理解できる</li> <li>4. 高齢者の権利擁護・倫理的課題を考えることができる</li> </ol>						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 1. 高齢者の理解の基本となる概念 ・老年期の発達課題 ・加齢に伴う身体的側面・心理的側面・社会的側面の変化 ・喪失体験(演習)					2	講義 演習
2	2. 高齢者疑似体験演習 ・高齢者の送る日常生活を体験し、老年期の身体機能・心理機能の加齢による変化を理解する					2	演習
3	・高齢者疑似体験演習のまとめ(グループワーク)					2	演習
4	3. 高齢者の生活 ・超高齢社会の現況 ・高齢者のいる家族の変化 ・高齢者のくらしと社会参加 ・高齢者の機能と評価(CGA・ADL・IADL・ICF・日常生活自立度)					2	講義
5	4. 高齢社会における保健医療福祉の動向 ・保健医療福祉制度の変遷 ・地域包括ケアシステム ・介護保険制度のしくみ					2	講義
6	5. 老年看護の特徴 ・老年看護の役割 ・老年看護における理論・概念 (サクセスフルエイジング・ストレングスモデル)					2	講義
7	6. 老年看護の倫理 1) 高齢者差別の防止 2) 高齢者虐待防止 3) 安全確保と身体拘束 4) アドボカシー 5) 高齢者の意思決定 6) アドバンスケアプランニング					2	講義
8	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学(医学書院) 看護のための人間発達学(医学書院)						
関連科目	倫理学、人体の構造演習、病態生理学総論、健康支援論、保健医療論 看護学概論、成人看護学概論、老年看護学						

科目名	老年看護援助論	単位	1	時間	30	講師名	教員・院内講師
開講時期	1年生 2学期						
科目の目的と概要	既習の基礎看護技術を想起しながら、予備力、適応力の低下した高齢者に対する看護技術について、高齢者を生活の視点からアセスメントし、生活機能を整えるための基本的な看護技術を学ぶ						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP2、DP4の達成に寄与						
到達目標	1. 高齢者の生活機能をアセスメントし、生活リズムを整える看護技術を習得できる 2. 栄養状態の変調・摂食嚥下機能が低下した高齢者の食事援助技術を習得できる 3. 高齢者の排泄機能をアセスメントし、高齢者に応じた用具の使用方法を習得できる 4. 高齢者のコミュニケーションの特徴を理解しコミュニケーション方法を習得できる 5. 高齢者のエンドオブライフケアについて考え、臨終の看取り技術が習得できる 6. 高齢者の褥瘡予防とケア技術を習得できる						
回数	教育内容					時間	方法
1	1. 日常生活を支える基本的活動 1) 高齢者の機能と評価 (ICF、CGA、ADL、IADL、寝たきり度判定基準、要介護度) 2) 活動の援助技術 3) 転倒のアセスメントと看護					2	講義
2	4) 転倒予防に向けた援助(転倒予防体操) 5) 歩行介助・歩行補助具の使用法					2	演習
3	6) 休息の援助技術 7) 生活リズムを整える看護 8) 廃用症候群のアセスメントと看護					2	講義
4	2. 食事・食生活 1) 摂食嚥下機能の変化 2) 栄養状態の変調(PEM・サルコペニア肥満) 3) 食生活のアセスメント					2	講義
5	4) 食生活の支援 ・適切な姿勢(ポジショニング)・摂食嚥下リハビリテーション					2	講義
6	3. 排泄 1) 排尿障害のアセスメントとケア 2) 排便障害のアセスメントとケア 3) 排泄の自立に向けた援助(骨盤底筋体操など)					2	講義
7	4) おむつ交換とおむつを使用した陰部洗浄の実際					2	演習
8	4. 清潔 1) 清潔のアセスメント 2) 清潔の援助 入浴、口腔ケア、整容(髭剃り、爪切り、耳・目のケア)					2	講義
9	3) 口腔ケア、義歯の取り扱い、爪切りの実際					3	演習
10	5. コミュニケーション 1) コミュニケーション能力のアセスメント 2) 難聴や視力障害・認知症・失語症・構音障害のある高齢者とのコミュニケーション					2	講義
11	6. エンドオブライフケア 1) 意思決定への支援 2) 末期段階に求められる援助					2	講義
12	7. 褥瘡・スキンケアの看護 1) 高齢者の皮膚の特徴、褥瘡・スキンケアとは、リスクアセスメント					2	講義
13	2) 褥瘡予防ケア(体圧分散、ズレ・摩擦予防、スキンケア、栄養障害) 背抜き・車椅子での座骨座りの修正					2	演習
14	3) 褥瘡ケア(褥瘡の評価、褥瘡の治療・処置)					2	講義
15	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学(医学書院)						
関連科目	基礎看護技術(活動・休息、食事、排泄、清潔)対象理解演習(コミュニケーション) 老年看護学						

科目名	老年看護方法論 I	単位	1	時間	30	講師名	院内講師
開講時期	2年生 1学期						
科目の目的と概要	老年の特徴をふまえ、急性期から回復期にある老年期の障害された機能に応じた看護を学ぶ。						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP2、DP4の達成に寄与						
到達目標	1. 呼吸機能・運動機能・脳血管に疾病・障害を持つ老年の特徴について理解できる。 2. 高齢患者の状況別、症状別看護の視点と看護の基本を理解できる。 3. 事例を通して、老年期にある対象の看護過程を展開できる。						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 1. 呼吸機能障害(間質性肺炎)患者の看護 患者の特徴					2	講義
2	症状と看護(呼吸困難・発熱・脱水・咳嗽・喀痰)					2	講義
3	症状と看護(呼吸困難・発熱・脱水・咳嗽・喀痰)					2	講義
4	酸素療法を受ける患者の看護					1	講義
5	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 2. 運動機能障害(大腿骨頸部骨折)患者の看護 患者の特徴					2	講義
6	症状と看護(運動障害・疼痛・廃用症候群)					2	講義
7	治療・処置を受ける患者の看護(受傷期から保存療法期まで) ・固定法 ・牽引 ・手術療法 ・リハビリテーション ・脱臼予防					2	講義 演習
8	治療・処置を受ける患者の看護(受傷期から保存療法期まで) ・補助具使用の実際 ・関節可動域測定 ・徒手筋力測定 ・四肢長測定					2	演習
9	手術療法をうける患者の看護 ・深部静脈血栓症の予防 ・疼痛コントロール ・ドレーン管理 ・せん妄予防 ・体位変換					2	講義
10	ペーパーペイシエントを用いた看護計画立案 ゴードンの分類 (情報、全体像は提示)					2	演習
11	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 3. 脳血管障害(脳梗塞・脳出血)患者の看護 患者の特徴					2	講義
12	外科的・内科的治療を受ける患者の看護					2	講義
13	意識障害、麻痺のある患者の看護					2	講義
14	言語障害のある患者の看護(失語症、構音障害)					2	講義
15	嚥下障害・麻痺のある患者の看護					2	講義
16	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器(医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 運動器(医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 脳・神経(医学書院)						
関連科目	人体の構造と機能Ⅰ、人体の構造と機能Ⅲ、病態生理学総論、病態生理学Ⅰ、病態生理学Ⅲ、病態アセスメント演習、生命維持援助基礎技術Ⅱ、看護過程演習						

科目名	老年看護方法論Ⅱ	単位	1	時間	30	講師名	教員・院内講師
開講時期	2年生 1学期						
科目の目的と概要	老年の特徴をふまえ、慢性期から終末期にある老年期の障害された機能に応じた看護を学ぶ。						
授業の位置づけとディプロマポリシーとの関連	DP1、DP2、DP3、DP4の達成に寄与						
到達目標	1. 認知機能・排泄機能に疾病・障害を持つ老年の特徴について理解できる。 2. 老年患者の状況別、症状別看護の視点と看護の基本を理解できる。 3. 事例を通して、老年期にある対象の看護過程を展開できる。						
回数	教育内容					時間	方法
1	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) ・認知症の原因となる疾患 ・認知症の診断 ・脳の機能 ・認知症の症状(認知機能障害・BPSD)					2	講義
2	・4大認知症について ・認知症の治療と看護					2	講義
3	・ユマニチュードと看護					2	講義
4	・うつと認知症の鑑別 ・せん妄と認知症の鑑別 ・せん妄予防と対応法					2	講義
5	・認知症高齢者の家族ケアとサポートシステム ・認知症高齢者の終末期の看護					2	講義
6	・認知症における倫理的課題の特徴とケア					1	講義
7	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 2. 排泄機能障害(前立腺がん)のある患者の看護 排尿障害患者の特徴、症状、検査・処置をうける患者の看護					2	講義
8	前立腺肥大のある患者の看護					2	講義
9	膀胱がん患者の看護					2	講義
10	前立腺がん患者の看護					2	講義
11	前立腺がんのペーパーペイシエントを用いた看護計画立案 (情報、全体像は提示)					2	演習
12	授業の進め方の説明(内容・方法・時期・他科目との関連・評価) 3. 排泄機能障害(腎不全)のある患者の看護について 急性腎不全・急性腎障害患者の看護					2	講義
13	慢性腎不全・慢性腎臓病患者の看護					2	講義
14	血液透析と腹膜透析について					2	講義
15	透析療法を受ける患者の看護					2	講義
16	終講試験					1	試験
評価方法	筆記試験(100点)						
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学(医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 腎・泌尿器(医学書院)						
関連科目	人体の構造と機能Ⅱ、人体の構造と機能Ⅳ、病態生理学総論、病態生理学Ⅱ、病態生理学Ⅲ、病態アセスメント演習、看護過程演習、						